

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/17	135	日本ビーシージー製造	1 乾燥BCGワクチン 2 乾燥BCG膀胱内用(日本株) 3 乾燥BCG(膀胱内用)	ウシの胆汁	ウシ胆囊	オーストラリア、ニュージーランド	1~3 製造工程	無し			
2003/10/17	136	アベンティスファーマ	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	ウマ血漿		有効成分	無し			
2003/10/17	137	アベンティスファーマ	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤		製造工程	無し			
2003/10/17	138	アベンティスファーマ	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺		製造工程	無し			
2003/10/17	139	帝国臓器製薬	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し			
2003/10/17	140	阪大微生物病研究会	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 百日せきジフテリア混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 5 ジフテリア破傷風混合トキソイド 6 成人用沈降ジフテリアトキソイド	ニワトリ肉エキス	ニワトリの肉、骨	日本	製造工程	無し			
2003/10/17	141	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんワクチン	SPFニワトリ胚	SPF発育鶏卵	日本	1~3 製造工程	無し			
2003/10/17	142	阪大微生物病研究会	1 日本脳炎ワクチン 2 乾燥日本脳炎ワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 4 乾燥弱毒生風しんワクチン 5 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 6 乾燥弱毒生麻しんワクチン 7 水痘抗原	コレステロール	ヒツジの毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無し			
2003/10/17	143	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン	SPFウズラ胚	SPF発育ウズラ卵	日本	1,2 製造工程	無し			
2003/10/17	144	阪大微生物病研究会	1 日本脳炎ワクチン 2 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウス	日本	製造工程	無し			
2003/10/17	145	阪大微生物病研究会	1 乾燥弱毒生水痘ワクチン 2 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞		1,2 製造工程	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/22	146	沢井製薬	コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ又はサメの軟骨	ウシ:アメリカ	有効成分	有り	大腸菌性胃腸炎(腸管出血性大腸菌O118)	Emerging Infectious Diseases 2003; 9(8): 1027-8	2002年2月、ブラジル・サンパウロでウシ便を調査したところ、多剤耐性の腸管出血性大腸菌O118が発見された。
2003/10/22	147	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国	製造工程	有り	ウイルス性下痢(BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
										読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。
2003/10/22	148	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	1~5 製造工程	有り	ウイルス性下痢(BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
										読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。
2003/10/22	149	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国	製造工程	有り	ウイルス性下痢(BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
										読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press.	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
										読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。
2003/10/22	150	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	1~10 製造工程	有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/22	151	北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 ジフテリアトキソイド 7 ジフテリア破傷風混合トキソイド 8 乾燥破傷風抗毒素 9 沈降精製百日せきワクチン 10 百日せきワクチン	ポリペプトン	ウシ乳	①②④⑤⑥ ⑦⑨⑩⑪ ポーランド、 中国、③⑧ ニュージー ランド、中国	1~11製 造工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
							有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。	
									Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。	
							有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	読売新聞2003年6月4日 India press July.29 2003	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。 インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	
2003/10/22	152	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトアルブミン 水解物	ウシ乳	オーストラ リア、ニュ ージーランド	1~4 製造 工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
							有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。	
									Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。	
							有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	読売新聞2003年6月4日 India press July.29 2003	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。 インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	
2003/10/22	153	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトビオン酸 エリスロマイシ ン	ウシ乳	①ニュ ージーランド、 カナダ、米 国、②③ NZ、オース トラリア、④ NZ、カナ ダ、オース トラリア、米	1~4 製造 工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	154	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	①②③ ニューゼーランド、④製造中止のため不明	1~4 製造工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press, 読売新聞2003年6月4日	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	155	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	①ニューゼーランド、②③オランダ、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、④製造中止のため不明	1~4 添加物	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press, 読売新聞2003年6月4日	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	156	北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	日本	1,2 製造工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press, 読売新聞2003年6月4日	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	157	北里 研究所	1 日本脳炎ワクチン 2 ジフテリアトキソイド 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシ骨皮(骨髄を除く)	①②日本、③ポーランド、中国、④製造中止のため不明	製造工程	有り	ウイルス性下痢 (BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症 (BVDV) 汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	158	北里 研究所	1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 ジフテリアトキソイド 5 ジフテリア破傷風混合	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程	有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
								有り	細菌感染(鼻疽・類鼻疽)	ProMED 7/31, 8/1, 8/8, 8/21, 2003 (News-Leader Ozarks 7/29, Craig Carter 7/29, Springfield News 8/1, Duluth News Tribune 8/1, Reuters.com 8/6,	中東に駐留した米国ミズーリ州の兵士が肺炎で2名が死亡、15名が感染。鼻疽・類鼻疽が疑われた。
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32):769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。 2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
								有り	東部ウマ脳炎	ProMED 8/1, 8/9, 8/21, 2003 (Baltimore Sun 7/30, Annoston Star 8/7, News and Record 8/20, 2003)	米国で東部ウマ脳炎による人の死亡(アラバマ州で2例)、ウマの感染が確認されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/22	159	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	①②③ ニュージーランド、オーストラリア、 ④製造中止のため不明	1~4 製造工程	有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	読売新聞2003年6月4日 India press July.29 2003	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。 インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
2003/10/22	160	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 4 沈降精製百日せきワクチン 5 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
								有り	細菌感染(鼻疽・類鼻疽)	ProMED 7/31, 8/1, 8/8, 8/21, 2003 (News-Leader Ozarks 7/29, Craig Carter 7/29, Springfield News 8/1, Duluth News Tribune 8/1, Reuters.com 8/6)	中東に駐留した米国ミズーリ州の兵士が肺炎で2名が死亡、15名が感染。鼻疽・類鼻疽が疑われた。
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32):769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。 2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
								有り	東部ウマ脳炎	ProMED 8/1, 8/9, 8/21, 2003 (Baltimore Sun 7/30, Annoston Star 8/7, News and Record 8/20 2003)	米国で東部ウマ脳炎による人の死亡(アラバマ州で2例)、ウマの感染が確認されている。
2003/10/22	161	北里研究所	1 乾燥破傷風抗毒素 2 乾燥まむし抗毒素 3 ワイル病治療血清 4 乾燥ジフテリア抗毒素	ウマ血漿	ウマ血液	日本	1~4 製造工程	有り	ウイルス性脳炎 (Chandipura)	India press July.29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種である Chandipuraと特定した。
								有り	細菌感染(鼻疽・類鼻疽)	ProMED 7/31, 8/1, 8/8, 8/21, 2003 (News-Leader Ozarks 7/29, Craig Carter 7/29, Springfield News 8/1, Duluth News Tribune 8/1, Reuters.com 8/6)	中東に駐留した米国ミズーリ州の兵士が肺炎で2名が死亡、15名が感染。鼻疽・類鼻疽が疑われた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32):769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。 2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
								有り	東部ウマ脳炎	ProMED 8/1, 8/9, 8/21, 2003 (Baltimore Sun 7/30, Annoston Star 8/7, News and Record	米国で東部ウマ脳炎による人の死亡(アラバマ州で2例)、ウマの感染が確認されている。
2003/10/22	162	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 3 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	①②日本、米国、③不明	1~3 製造工程	有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32):769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。 2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
2003/10/22	163	北里研究所	1,2 インフルエンザHAワクチン 3 インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32):769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。 2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
2003/10/22	164	北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	トリプシン	ブタ臓臓	米国	1~4 製造工程	有り	ウイルス性下痢(BVDV)	Biologicals 2003; 7/17, In Press,	ウシ胎児血清がウシウイルス性下痢症(BVDV)汚染のリスクを完全に回避するためには、RNA検出のみでは不十分で、感染性・非感染性の識別には組織培養法のみが有効である。
								有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
								有り	ウイルス性脳炎(Chandipura)	India press July.29 2003	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。 インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラプトウイルスの1種であるChandipuraと特定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/22	165	北里研究所	1,2 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 3 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 4 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 ジフテリアトキソイド 6 ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程	有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。
										Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7	北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
										読売新聞2003年6月4日	出荷時期に達したブタの90%にE型肝炎の感染歴がある。
							有り	ウイルス性脳炎(Chandipura)	India press July,29 2003	インドで小児250名の原因不明の死亡について、ラブドウイルスの1種であるChandipuraと特定した。	
2003/10/22	166	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程	有り	肝炎ウイルス、HIV	厚生労働省通知(薬食血発第0730002号等平成15年7月30日付)、日本赤十字社HP、共同通信2003年7月29日付	日本赤十字社はウイルス性肝炎等感染者がウインドウ期に献血した6419本の血液由来の血液製剤の遡及調査を実施。
								有り	ウエストナイルウイルス感染	CDC Telebriefing transcript 8/7, 8/14 2003 CDC MMWR, 8/15, 2003/52(32);769-72	米国における2003年夏までのウエストナイルウイルスの動向調査。夏になりヒトへ感染が急増している。
											2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
2003/10/22	167	北里研究所	1,2,3,4 日本脳炎ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程	有り	E型肝炎	THE LANCET 2003; vol.362, August2, 371-3 Journal of General Virology 2003; vol.84: 2351-7 読売新聞2003年6月4日	日本の症例を通じて、シカ肉を生食することでE型肝炎が伝播する可能性を指摘。 北海道で市販されているブタの肝臓の1.9%からHEV遺伝子の一部を検出。この遺伝子が、ブタ肝臓を摂取後HEVに感染した患者のウイルスとほぼ同等の塩基配列を呈したことから、HEVが十分加熱されていないブタ肝臓の摂取によりヒトに感染する可能性を示唆した。
2003/10/23	168	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS /UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛肉	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程	有り	ウエストナイルウイルス感染	ルイジアナ州農林業局動物保健局HP 2003年7月24日 KSLTV, AP報告 8/15 2003 Tucson Citizen, 9/5 2003	米国ルイジアナ州の2郡で、ウエストナイルウイルスに感染したウマが合計3頭確認された。 米国アリゾナ州でウマ2頭がウエストナイルウイルスに感染した。 米国アリゾナ州で新たにウマ1頭がウエストナイルウイルスに感染した。
								有り	東部ウマ脳炎	Baltimore Sun, 7/30. 2003 Herald Tribune, 8/14. Philadelphia Inquirer, 8/20, 2003 News and Record, 8/20, 2003	米国メリーランド州東海岸部で飼育されていたウマ2頭が東部ウマ脳炎に感染した。 米国ルイジアナ州で飼育されていたウマ9頭が東部ウマ脳炎に感染した。 米国ニュージャージー州で飼育されていたサラブレッド1頭が東部ウマ脳炎に感染した。 米国ノースカロライナ州で飼育されていたウマ1頭が東部ウマ脳炎に感染した。今年には州内で動物での東部ウマ脳炎感染確定例が73例発生している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	感染症(PT)	出典	概要
2003/10/23	169	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ベブシン	ブタ胃液	不明	製造工程	無し			
2003/10/23	170	中外製薬	1トラスツズマブ(遺伝子組換え) 2レノグラスチム(遺伝子組換え) 3エボエチンベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	1~3 製造工程	無し			
2003/10/23	171	中外製薬	1トラスツズマブ(遺伝子組換え) 2 ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su(株)ペニシリン処理凍結乾燥粉末	パンクレアチン	ブタ膵臓	①米国、カナダ②日本、米国、カナダ、フランス	1,2 製造工程	無し			
2003/10/23	172	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラードウオーター	ブタ脂肪	不明	製造工程	無し			
2003/10/23	173	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ膵臓、ウシ血液	米国	製造工程	有り	ウイルス感染	London, 18 June 2003 EMEA/ CPMP/ BWP/ 1793/ 02	CPMPはヒト生物由来医薬品製造過程におけるウシ血清使用のためのガイダンスを発表。
								有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	CaWest News Service, 2003/8/1 OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	カナダにおけるBSEサーベイランスが適切に実施されてなかったことから、BSE感染頭数の報告が事実を下回っているのではないかと指摘。 カナダ食品検査局によるアルバータ州における疫学調査によるとBSE感染牛が根絶され、ヒトの食物連鎖に入らなくなったことを報告。
								有り	炭疽	ProMED 8/12, 2003 (News release 8/12, 2003) ProMED 8/19, 2003 (Allan Preston 8/19,	米国サウスダコタ州Butte郡の大規模ウシ牧場で炭疽が発生し、ウシ160頭が感染、うち10頭が死亡した。 カナダ・マニトバ州でウシの炭疽が1症例発生。
2003/10/23	174	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	ウイルス感染	London, 18 June 2003 EMEA/ CPMP/ BWP/ 1793/ 02	CPMPはヒト生物由来医薬品製造過程におけるウシ血清使用のためのガイダンスを発表。
								有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	CaWest News Service, 2003/8/1 OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	カナダにおけるBSEサーベイランスが適切に実施されてなかったことから、BSE感染頭数の報告が事実を下回っているのではないかと指摘。 カナダ食品検査局によるアルバータ州における疫学調査によるとBSE感染牛が根絶され、ヒトの食物連鎖に入らなくなったことを報告。
								有り	炭疽	ProMED 8/12, 2003 (News release 8/12, 2003) ProMED 8/19, 2003 (Allan Preston 8/19,	米国サウスダコタ州Butte郡の大規模ウシ牧場で炭疽が発生し、ウシ160頭が感染、うち10頭が死亡した。 カナダ・マニトバ州でウシの炭疽が1症例発生。
2003/10/23	175	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有り	ウイルス感染	London, 18 June 2003 EMEA/ CPMP/ BWP/ 1793/ 02	CPMPはヒト生物由来医薬品製造過程におけるウシ血清使用のためのガイダンスを発表。
								有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	CaWest News Service, 2003/8/1 OIE Diseases Information, 8/15 2003; Vol.16-No.33	カナダにおけるBSEサーベイランスが適切に実施されてなかったことから、BSE感染頭数の報告が事実を下回っているのではないかと指摘。 カナダ食品検査局によるアルバータ州における疫学調査によるとBSE感染牛が根絶され、ヒトの食物連鎖に入らなくなったことを報告。
								有り	炭疽	ProMED 8/12, 2003 (News release 8/12, 2003) ProMED 8/19, 2003 (Allan Preston 8/19,	米国サウスダコタ州Butte郡の大規模ウシ牧場で炭疽が発生し、ウシ160頭が感染、うち10頭が死亡した。 カナダ・マニトバ州でウシの炭疽が1症例発生。